

所 属 鳥取県漁業協同組合（泊支所）  
氏 名 あさひだ たくろう  
朝日田 卓 朗（49 歳）  
船 名 あおとまる  
青斗丸 4.2 トン  
漁業種類 刺網（アジ、ハマチ、サワラ）、潜水



～ゼロからスタート、今では浜を担う漁師へ～

穏やかで優しい人柄が、表情や仕草にも表れている朝日田さんは、33 歳の時に、漁師になりたいと一念発起し、県外から鳥取へとやってきた。泊の先輩漁師達の元で漁業研修を受け、今では、第一線で活躍する漁師となっている。

「元々、釣り好きで漁業に興味を持ったが、刺網でたくさんの魚が獲れる光景を目の当たりにしてからは、釣りだけでは物足りなくなってしまった。」と、ますます漁業の魅力に取り付かれていったそうだ。研修後には、自ら練習、体得した潜水漁なども織り交ぜ、さらなるスキルアップを遂げている。

そんな朝日田さんも、漁に邁進する傍ら、接点のなかった自分を受け入れてくれた先輩漁師さんや地元の人達への感謝の気持ちを、常に抱いていると語る。そして、ベテラン漁師達が引退していくことに、不安を感じる一方、自分たちが浜を担う立場になってきていることを感じていると言う。そう真摯に語る表情に、先輩漁師達の熱意は、確実に受け継がれていると感じた。

～海の上の優しき男～

「漁場で刺網を張る場所が取り合いになる場面では、気が引けてしまうところもある」と苦笑い。海の上では、漁師達は皆、仲間でありながら、ライバルでもあるのだ。しかし、その優しさは、周りの船や魚にも細やかな気配りができるということでもある。優しい人柄を活かした漁をこれからも続けていってもらいたい。

（文責：水本 泰）